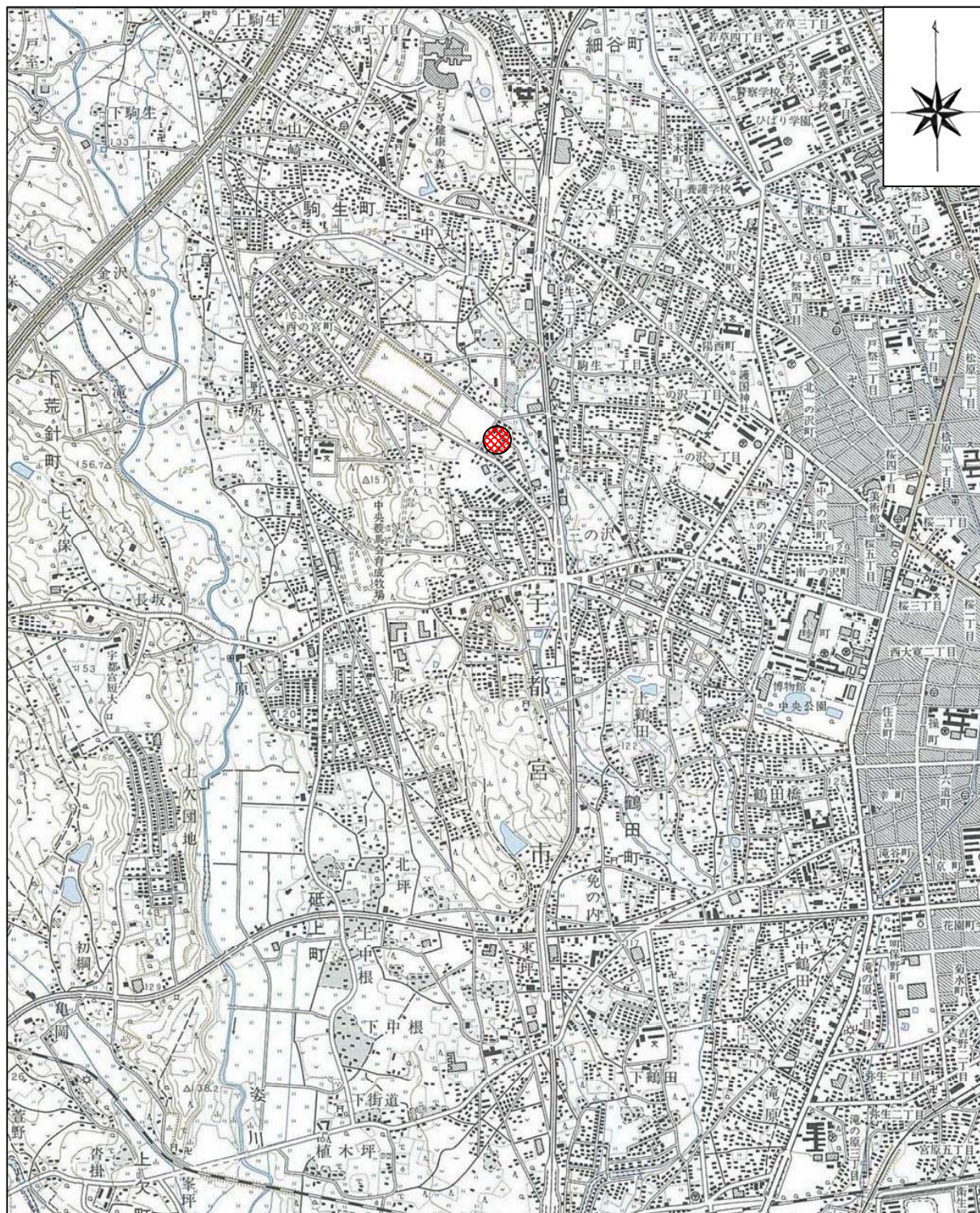



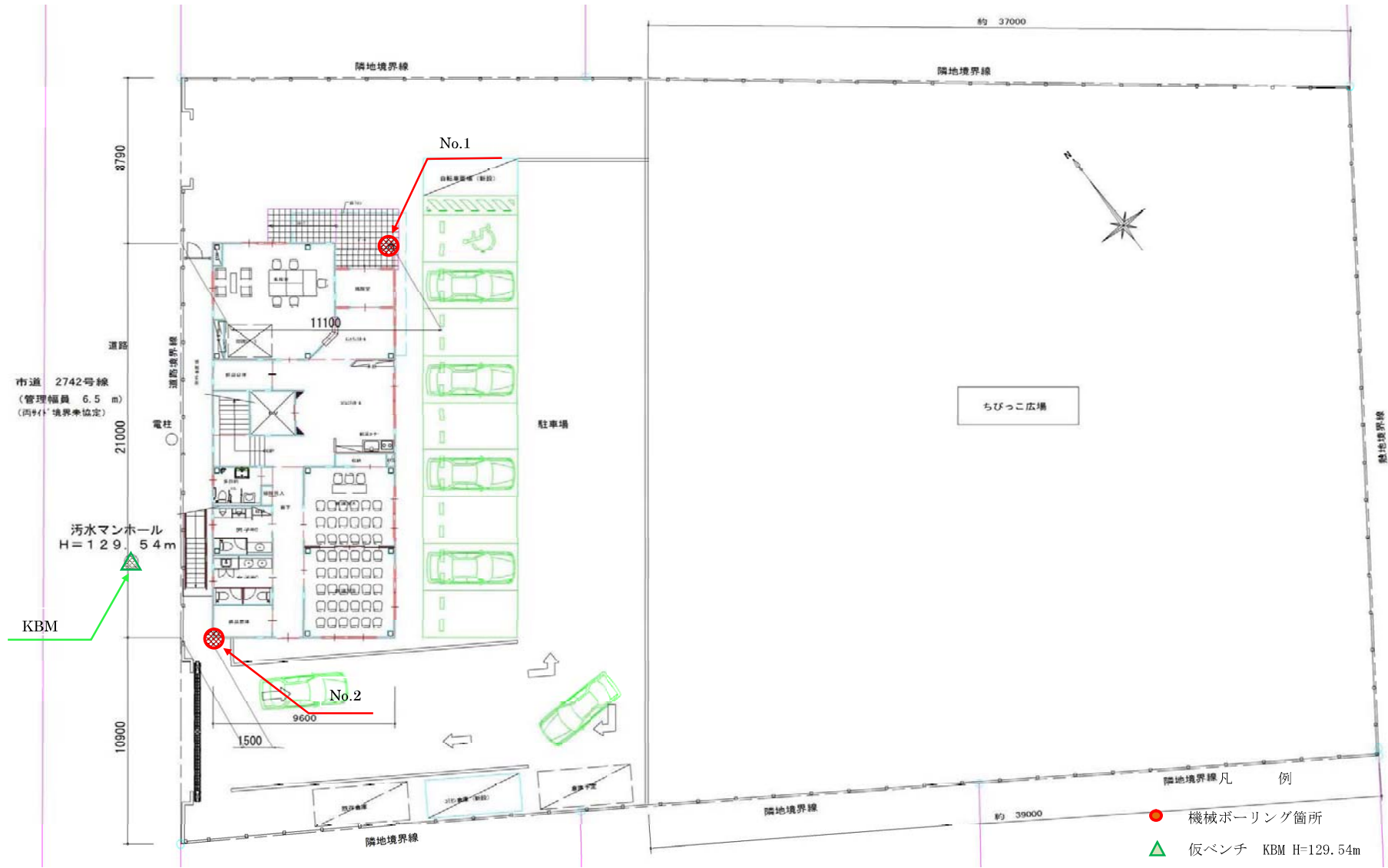
1.2 業務箇所位置図(案内図)



案内図 (S=1:25,000)

 調査地

国土地理院発行 2.5 万分の 1 地形図「宇都宮西部」より一部抜粋



調査位置平面図 縮尺=1/200

調査位置平面図 S=1:400



凡例

時代	地層区分	記号	主な土質	厚層(m)	層数
近世 代 新 期	盛土層	S	シルト	0.70~0.90	1
	ローム層1	Lm1	ローム	1.60~2.00	3~11
	黒泥炭層	Kp	黒泥炭	0.90~1.20	1~2
	ローム層2	Lm2	ローム	0.80	4~5
	洗積砂層	Dg	粘土混じり砂	5.92~6.72	23~30

地層想定断面図 S=1:200



断面図凡例

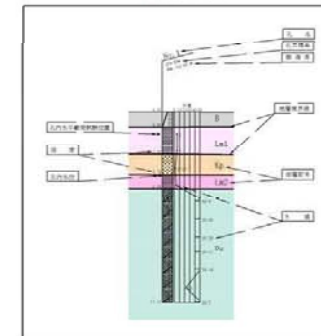


図 3.2 地層想定断面図 (縮尺=1/200)

ボーリング柱状図

調査名 明保地域コミュニティセンター改築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo 38071

事業・工事名

シートNo 3807101

ボーリング名	No.1		調査位置	宇都宮市鶴田町3668番36			北緯	36° 34' 9.5"			
発注機関	宇都宮市 建設部 建築課 建築施設グループ			調査期間	平成 25年 9月 3日 ~ 25年 9月 4日			東経	139° 50' 49.6"		
調査業者名	協和測量設計株式会社 電話 ()		主任技師	現場代理人	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	129.65m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具	半自動型
総掘進長	11.22m	度		向				エンジン	KR-100H2	ポンプ	V-6B

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 ()	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	10 20 30	貫入量 (cm)						
128.75	0.90	0.90	盛土 (シルト)	暗褐色	軟らかい	中位	ローム・シルトの混合土 シルト主体で、φ20mm程度の礫点在		1.35	2	1	2	5	30				
127.15	1.60	2.50	ローム	茶褐色	中位		軽石混入・炭化物混入 含水量多、粘性中位~大きい 深さ2.20m以深混入軽石混入		1.45	1	2	2	5	30				
125.93	1.20	3.70	鹿沼軽石	黄褐色	非常に軟らかい		粒径φ3~5mm主体、含水量多い・軽石混入 下部、粒径φ5~8mm程度とやや大きくなる		2.15	1	2	2	5	30				
125.15	0.80	4.50	ローム	茶褐色	軟らかい		軽石・炭化物混入 含水量多い・粘性大きい		2.45	1	2	2	5	30				
							φ10~70mmの垂門礫主体 上部粘土分多く混入 礫間隙は、粘土分と粒径不均一な砂で 充填、コア長30~140mm混入		3.15	1	2	2	5	30				
							深度7.6~7.8m間砂多		3.50	1	2	2	5	30				
							深度8.6~9.5m間φ50~75mmの礫多い		4.15	1	2	2	5	30				
							深度9.3~9.5m付近玉石多い、コア長140mm程度		4.45	1	2	2	5	30				
							深度10.1~10.5m付近粘土分多く礫径φ2~30mm程度主体		5.15	1	2	2	5	30				
									5.21	1	2	2	5	30				
									6.15	1	2	2	5	30				
									6.35	1	2	2	5	30				
									7.15	15	16	19	50	29				
									7.44	34	16	7	50	17				
									8.15	27	23	4	50	14				
									8.32	27	23	4	50	14				
									9.15	6	9	8	23	30				
									9.29	6	9	8	23	30				
									10.15	50	7	50	7					
									10.45	50	7	50	7					
									11.15	50	7	50	7					
									11.22	50	7	50	7					

<凡例> 柱状図および土質区分

第1分類		
区分	分類名	図例
土質材料	礫 (G)	
	礫質土 (GP)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SP)	
	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
有機質土 (O)		
火山灰質粘性土 (V)		
高有機質土 (腐植土) (F)		

第2分類		
区分	分類名	図例
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混じり (-M)	
	砂利、礫混じり (-G)	
	砂混じり (-S)	
	シルト混じり (-M)	
	粘土混じり (-C)	
有機質土混じり (-O)		
火山灰混じり (-V)		
貝殻混じり (-Sh)		

第3分類		
区分	分類名	図例
岩盤	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
砕石	軟岩、風化岩 (FR)	
	玉石 (GS)	
特殊材料	浮石 (軽石) (FL)	
	シラス (SL)	
土質材料	スコリア (SC)	
	火山灰 (VA)	
土質材料	ローム (Lm)	
	黒沢土 (KS)	
土質材料	マサ (MS)	
	表土 (Sa)	
土質材料	埋土 (FI)	
	腐植物 (F)	

試料採取方法

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ () による

備考

ボーリング柱状図

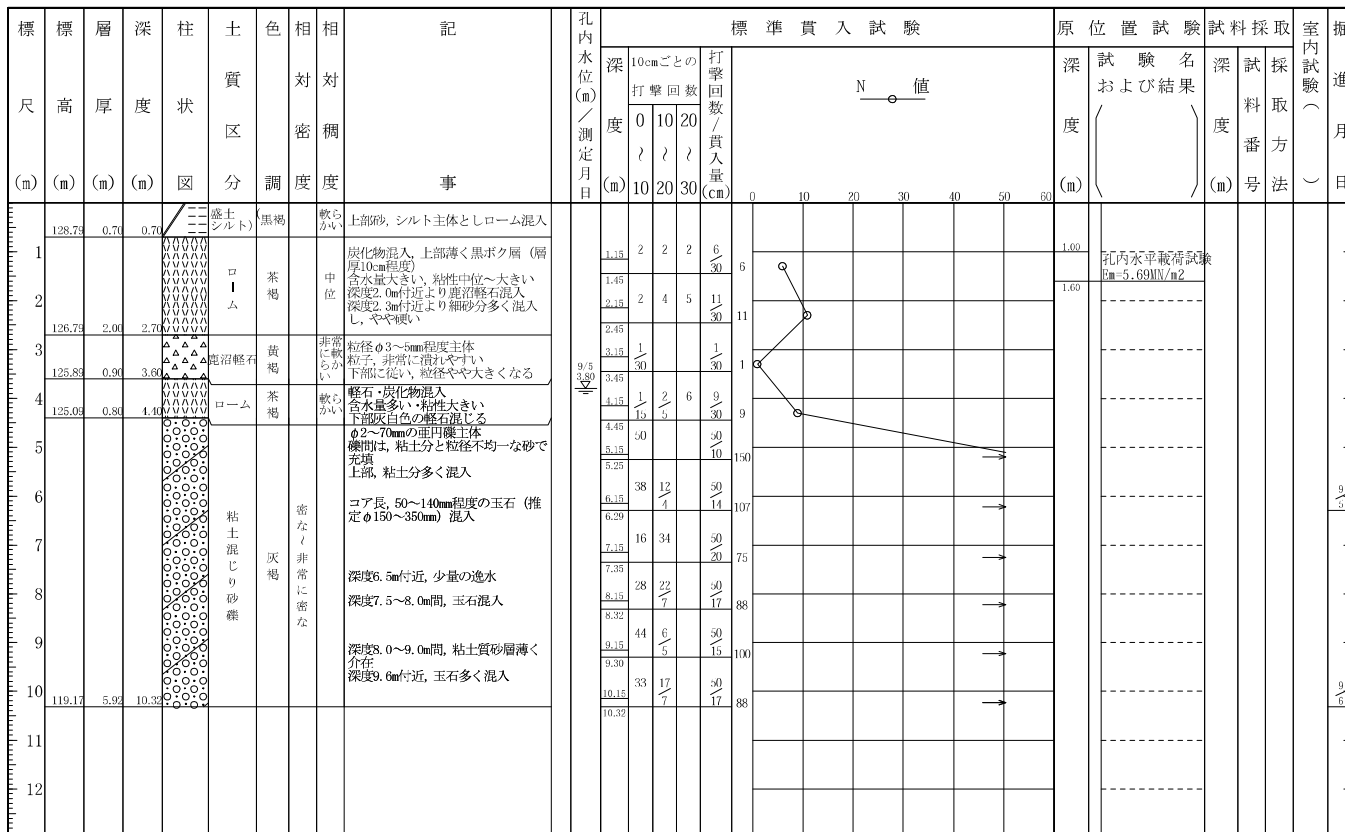
調査名 明保地域コミュニティセンター改築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo	3	8	0	7	1				
---------	---	---	---	---	---	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo 3807102

ボーリング名	No. 2		調査位置	宇都宮市鶴岡町3668番36			北緯	36° 34' 9"					
発注機関	宇都宮市 建設部 建築課 建築施設グループ			調査期間	平成 25年 9月 5日 ~ 25年 9月 9日			東経	139° 50' 48.6"				
調査業者名	協和測量設計株式会社 電話 ()		主任技師	現場代理人	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	129.49m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	KR-100H2	ハンマー落下用具	半自動型	
総掘進長	10.32m	度						エンジン	NFD-9M	ポンプ	V-6B		



<凡例> 柱状図および土質区分

第1分類		
区分	分類名	図模様
土質材料	土 (G)	○ ○ ○ ○
	腐植土 (GP)	○ ○ ○ ○
	砂 (S)	● ● ● ●
	砂質土 (SP)	● ● ● ●
	シルト (M)	— — — —
	粘性土 (C)	— — — —
	有機質土 (O)	— — — —
	火山灰質粘性土 (V)	— — — —
	高有機質土(腐植土) (F)	— — — —

第2分類		
区分	分類名	図模様
補助記号	砂質 (S)	● ● ● ●
	シルト質 (M)	— — — —
	粘土質 (C)	— — — —
	有機質 (O)	— — — —
	火山灰質 (V)	— — — —
	玉石混じり (-R)	○ ○ ○ ○
	砂利、礫混じり (-L)	● ● ● ●
	砂混じり (-S)	● ● ● ●
	シルト混じり (-M)	— — — —
	粘土混じり (-C)	— — — —

第3分類		
区分	分類名	図模様
岩石材料	岩 (R)	— — — —
	凝結岩 (C)	— — — —
	軟弱岩 (S)	— — — —
	砕石 (砕石) (F)	○ ○ ○ ○
特殊材料	シラス (S)	— — — —
	スコリア (Sc)	— — — —
	火山灰 (V)	— — — —
	黒ボク土 (K)	— — — —
土	土 (S)	— — — —
	埋土 (F)	— — — —
	腐植物 (F)	— — — —

試料採取方法

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ () による

備考